

特別会計・公営企業会計の決算概要

市には、14の特別会計と5つの公営企業会計があります。

公営企業会計を含め特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため設置しているものです。また公営企業会計とは、公営企業法を適用した特別会計のことで、民間企業と同様の経理をしている会計のことをいいます。

また次の2つの表の下水道事業とは、特別会計では福島・鷹島地域で行っている漁業集落排水事業、公営企業会計では志佐町で供用開始をしている公共下水道事業のことを指しています。

■表5 特別会計の決算（見込み）

区分	歳入	歳出
青島診療所事業	4,426万1千円	4,285万円
土地区画整理事業	1億992万5千円	1億992万5千円
鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業	2,338万9千円	2,311万円
国民健康保険	35億9,405万3千円	32億6,801万8千円
老人保健	4,585万6千円	4,033万2千円
後期高齢者医療	2億3,891万7千円	2億3,742万1千円
介護保険	24億5,771万6千円	24億2,860万6千円
簡易水道事業	4億750万5千円	4億407万8千円
福島診療所事業	3億2,439万4千円	3億2,048万1千円
鷹島診療所事業	1億8,981万2千円	1億8,497万4千円
下水道事業	1億4,494万8千円	1億4,432万4千円
松浦魚市場	1億3,025万7千円	1億2,834万2千円
臨海土地造成事業	9,889万1千円	9,867万4千円
工業団地造成事業	1,477万3千円	1,475万円

■表6 公営企業会計の決算

区分		決算額		備考
水道事業	収益的	収入	3億2,516万5千円	21年度純利益1,226万5千円
		支出	3億2,353万7千円	
	資本的	収入	2,743万7千円	収入額が支出額に不足する額9,882万5千円は過年度分損益勘定留保資金および当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。
		支出	1億2,626万2千円	
業務量		年間総配水量 2,856,611 立方 ^米 年度末給水件数 7,196 件		
工業用水道事業	収益的	収入	1億5,837万9千円	21年度純利益2,929万1千円
		支出	1億3,320万9千円	
	資本的	収入	0円	
		支出	0円	
業務量		年間総給水量 4,489,500 立方 ^米 （責任使用水量制） 年度末給水企業数 2 社		
下水道事業	収益的	収入	1億1,703万4千円	21年度純損失8,060万5千円
		支出	1億8,841万4千円	
	資本的	収入	3億9,691万円	収入額が支出額に不足する額1,694万3千円は既収入特定財源と消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。
		支出	4億1,385万3千円	
業務量		供用開始区域 135.7 [㍉] 供用開始人口 4,260 人		
交通事業	収益的	収入	4,361万9千円	21年度純損失9万5千円
		支出	4,371万4千円	
	資本的	収入	370万3千円	
		支出	370万3千円	
業務量		輸送人員 59,230 名		
診療所事業	収益的	収入	4億6,629万2千円	21年度純損失7,818万4千円
		支出	5億4,447万6千円	
	資本的	収入	1億4,197万5千円	
		支出	9,916万円	
業務量		年間患者数 入院 2,353 人（前年度比△2,754 人） 外来 14,795 人（前年度比△9,952 人）		

市債と基金の残高状況

市債とは(表7)、公共施設の建設など、市が一度に多額の出費を必要とする場合に認められる長期の借入金のことです。前年度末残高と比べて一般会計は10億771万9千円減少し、特別会計・企業会計を含めた全体では、15億30万1千円の減少となっています。

基金とは(表8)、一般家庭でいうと預貯金にあたるものです。前年度末残高と比べると、一般会計で5億1,466万5千円、全体で5億1,772万7千円増加しています。

■表8 基金の状況

区分	21年度末残高(千円)
財政調整基金	722,059
地域振興基金	667,522
減債基金	25,486
地域福祉基金	358,393
公共用施設維持基金	247,650
土地開発基金	151,982
人材育成基金	183,845
文化・スポーツ振興基金	67,957
公共用施設維持補修基金	13,437
松濤奨学基金	29,405
工業用地造成事業基金	126,963
合併振興基金	1,659,257
公共用施設整備基金	1,493
その他	45,557
小計	4,301,006
鉦害復旧灌漑用水施設維持管理基金	1,301,489
国民健康保険財政調整基金	359,551
国民健康保険給付費資金貸付基金	3,000
介護給付費準備基金	146,734
介護従事者処遇改善臨時特例基金	5,349
簡易水道事業基金	20,111
水資源開発基金	29,908
下水道財政運営基金	10,297
地方卸売市場松浦魚市場運営基金	11,199
小計	1,887,638
合計	6,188,644

■表7 市債の状況

会計の名称	21年度末残高(千円)
一般会計	17,199,880
土地区画整理事業	789,772
簡易水道事業	2,668,576
福島診療所事業	394,087
鷹島診療所事業	52,533
下水道事業	1,099,708
松浦魚市場	707,760
臨海土地造成事業	25,950
工業団地造成事業	31,800
小計	5,770,186
診療所事業	430,490
水道事業	1,168,390
下水道事業	3,025,804
小計	4,624,684
合計	27,594,750

松浦さんちの家計簿

市の財政状況を身近に感じていただくために、市の財政と家庭の家計では仕組みが違いますので多少無理がありますが、あえて給料・パート月収25万円(年収にして300万円)の家庭に例えてみます。

1カ月の総収入88万2千円のうち、給料など家族で稼いだお金は25万円しかなく、56万3千円も仕送りや借金に頼り、それでも足りないために貯金から6万9千円を下ろしていることとなります。

支出は、食費や医療費、光熱水費や子どもへの仕送りなどに41万4千円、ローン返済に13万5千円かかっており、普段の生活費としては54万9千円かかっていることとなります。

家族の稼いだお金よりも生活費が29万9千円も多いということになり、とても不安定な厳しい状況にあるといえます。普段の生活分は、自分の給料で賄えるくらいが安心ですが、今後のことを考えると給与の増額はあまり期待できません。また、親からの支援にも頼ってばかりいただけません。となると、経費をいかに節減し、限られた給料の中でやりくりしていくかが重要となっています。

収入		
松浦さんちの1カ月の収入		該当する市の収入
給料・パート収入	25万円	市税などの自主財源
貯金の取り崩し	6万9千円	繰入金
親からの仕送り	49万1千円	国・県支出金などの依存財源
借入金	7万2千円	市債
1カ月収入合計	88万2千円	

支出		
松浦さんちの1カ月の支出		該当する市の支出
食費や家族の医療費など	24万5千円	人件費、扶助費
住宅ローンの返済	13万5千円	公債費
光熱水費など	9万2千円	物件費
子どもへの仕送り	7万7千円	繰出金
友達への支援	12万6千円	補助費など
車購入や自宅の増改築	13万8千円	投資的経費
積立貯金など	3万3千円	その他
1カ月支出合計	84万6千円	